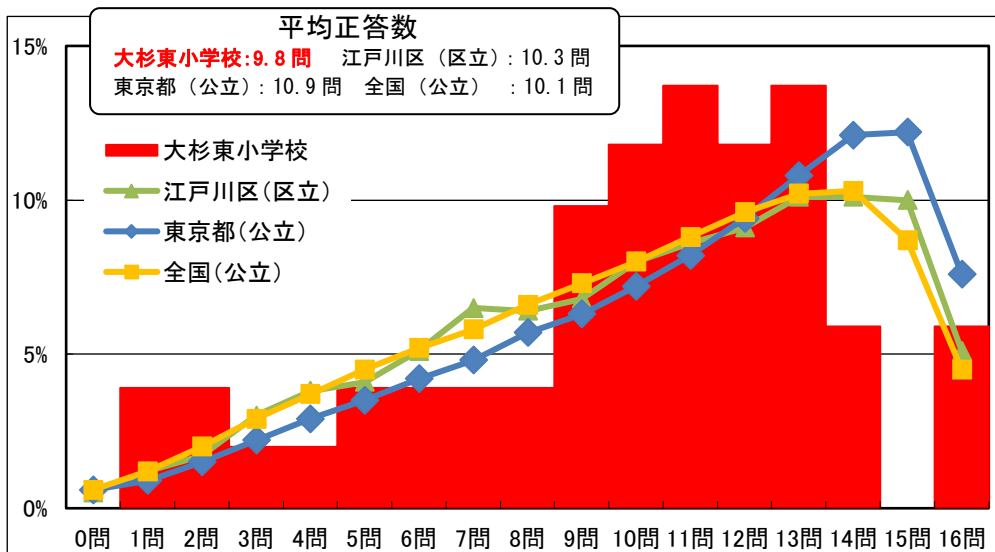


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 大杉東小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
大杉東小学校	11.8	25.5	39.2	23.5
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

大杉東小学校	61%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	7ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

- B・C層の児童が多く、A層が少ない。
- 図形や変化と関係の領域では、区平均に迫る正答率になっている。
- 数と計算は区や都と比べ、正答率が低い。
- 問題別では、速さについて説明する問題や体積の関係を捉え、式に表す問題の正答率が低い。

- 習熟度別授業で、既習内容の復習や数の表し方や計算について確認し、基本的な知識・技能の定着を図る。
- 思考・判断・表現の力を伸ばすため、学び合いを基本とした授業を展開していく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果

